

はまだ議会だより mini

令和8年度「島根県市議会議長会議員研修会」に参加

7月28日、「島根県市議会議長会議員研修会」が開催され、本市議会からも議員が参加しました。今回は、島根県出身（奥出雲町立横田中学校卒業）で、京都大学人文科学研究所准教授の藤原辰史氏を講師に迎え、「自治を考える一水、土、人をつなぐもの」と題した講演が行われました。農業史や食の歴史に造詣の深い藤原氏は、人口減少や少子高齢化が進む現代の地方自治について追究。身近な自然環境や日々の暮らし、人と人との「これまでの歴史を踏まえた様々な繋がり」こそ

が、これからの地域社会（自治）を維持していく上で極めて大切であると語られました。

今回の研修を通じ、参加した議員一同、歴史的な視点から地域コミュニティの本質を学び、単なる行政手続きとしての自治ではなく、住民一人ひとりの暮らしに根ざした「生きた自治」を再構築する必要性を強く実感することができました。この研修を、今後の議会活動や地域課題の解決に向けて活かしてまいります。

（議会広報広聴委員会）

東日本大震災遺構・伝承館などを視察

8月4日から6日まで、総務委員会7人と議長、事務局1名で宮城県へ視察に行きました。

初日は気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館を訪れ、被災した校舎や映像、展示を見学しました。震災の脅威や教訓を目の前で感じ、次世代へ伝えることの大切さについて学びました。

2日目の南三陸311メモリアルでは、住民の

証言映像や展示を通して、防災について考えました。

また、展望デッキから復興祈念公園などを望み、復興の歩みを確認することができました。

今回の視察で得た学びを、今後の浜田市の防災・減災の取組に活かしてまいります。

（総務委員会）

議員のつぶやき

盆踊りを次代へつなぐ

8月13日から15日にかけて、各自治会で盆踊りが行われました。近年、少子高齢化などにより、盆踊りの口説き手が不足し、CDなどの音源を使う地域も増えています。私も「会津屋ハ右衛門口説き歌」を練習していますが、他の自治会から口説き手をお願いすることもあります。地域の伝統文化を次の世代につなぐためにも、若い世代の参加が増えてほしいと願っています。（岡本）



議長日誌

8/28 少年の主張浜田市大会

石央文化ホールで開催された「令和8年度少年の主張浜田市大会」に出席しました。



市内各中学校の代表8名による発表に、深く感銘を受けました。日常への鋭い気づきや社会への高い問題意識に感心させられ、自らの中学生時代と比べても、その堂々とした主張ぶりは圧巻でした。浜田の未来を担う頼もしい姿に、大きな期待を寄せています。